



謹賀新年



撮影・松尾俊一氏

一 発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号

志波彦神社
鹽竈神社 社務所

電話 〇二二(三六七)一六一(代)

FAX 〇二二(三六五)五五三〇

<http://www.shiogamajinja.jp/>



神域の澄みわたる大空に、ふと現れし神の御姿とでも言うような写真である。辰歳の新年号を飾るこの写真は、境内隣接地に住む松尾氏の提供である。職場に向かう途中の境内での撮影は日課であるという。常日頃より氏より多くの写真を頂戴するが、此度の写真のように「龍」の姿のものが非常に多い。

当社の主祭神「塩土老翁神」は、潮の満ち引きを司り、人々に製塩方法や知恵を授ける導きの神と伝えられている。記紀神話にある「海幸彦山幸彦」に、塩土老翁神が山幸彦を海の宮殿に案内するくだりがある。この宮殿は龍宮と呼ばれ、そこで妻として娶った豊玉姫は龍に姿を変えたという。龍宮への導きが山幸彦の運気を変えた。

別宮拝殿向拝に龍の木鼻(彫刻)がある。この龍が意味するところは、運氣の上昇、富と幸福をもたらすと伝えられている。干支の中で唯一の架空動物であるが、最も縁起が良いとされ、邪気や厄災も祓うという。塩土老翁神の導きのもと、この御力にあやかりたい。



年頭にあたり

志波彦神社 宮司 鍵 三夫

令和六年（皇紀二八六四年）新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。

氏子崇敬者各位には旧年中、当社の神事・諸行事に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年五月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類に移行し、皆様の生活も元に戻られたことと存じます。

マスクの着用は個人の判断に委ねられ、久しぶりに参拝者が笑顔でお参りする姿が見られました。特に七五三の時期にご家族三代代でお参りする風景は、心温まるものでした。

又、神社の祭典も元の形で斎行され、直会も行いました。これにより「神人共食」という祭祀の根本の本義が整うことになりました。

さて、志波彦神社が明治四年に国幣中社に列せられ

ましたが、狭隘な境内地と社殿の腐朽の為、明治七年十二月二十四日、当時の岩切村今市冠川（現在の仙台市宮城野区岩切）から鹽竈神社別宮本殿に遷祀されて、本年は百五十年の佳節を迎えます。

遷祀以降、歴代宮司は志波彦神社社殿造営に向けて奔走しました。その六十四年後の昭和十三年、宮司始め氏子崇敬者の念願叶い、社殿が竣工し現在に至って

おります。当時の記録を編みますと、奉賛会の結成を始め、境内地の選定や社殿の設計、また奉賛金の募集など様々な活動に職員と氏子崇敬者が共に篤い崇敬心を以て取り組んでいる事がうかがえます。

昨年、初穂曳がコロナ禍以前の形で実施され、大勢の奉仕者の手でさまざまな秋の初穂が志波彦神社にお供えされました。百五十年の節目に先立って再開できましたことは感慨に堪えません。

「しわひこさま」「しおがまさま」の御神徳が氏子崇敬者皆様にゆき廻り、今年一年の御安寧を祈念し、新春の辞と致します。



年頭のご挨拶

節分祭年男女世話人会

会長 佐藤 一臣

新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては清々しい新年を迎えられました事とお慶び申し上げます。

私は平成六年に節分祭世話人となり、平成二十三年からは副会長として佐藤武志前会長を補佐してまいりました。この間、千葉吉郎氏・永埜養郎氏・郷家照夫氏・佐藤武志氏の歴代会長と、世話人一同と共に、節

分祭の発展に微力ながら尽力してまいりました。昨年九月に世話人会会長を拝命し、歴代会長の御功績に思いを致すとき、改めて責任の重さに身の引き締まる所存であります。

さて、昨年は三年ぶりに豆撒きを執行することができました。ご参加いただいた年男女の皆様、多くの参拝者の方々に御礼申し上げます。また警備にあたら

れた塩釜警察署の皆様、福景品を御提供いただいた多くの御協賛の皆様方にも厚く御礼申し上げます。コロナ禍の中、皆様方のおかげで滞りなく執行できましたことに安堵いたしました。

本年は、コロナ感染対策は充分留意し、さらには層盛大に、そして事故なく豆撒きを執行いたすべく、世話人一同準備に取り組みしております。諸先輩の築き上

り、福を招き春を告げます。コロナ禍前のように、皆様が笑顔で豆を撒き、福を拾う光景を取り戻したく存じます。

ぜひ皆様、節分祭にご参加いただき今年一年の除災招福・家内安全を祈願されますことをお待ち申し上げます。皆様の益々のご健康、ご繁栄をご祈念いたし新年のご挨拶とさせていただきます。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます

令和六年甲辰 元旦

志波彦神社 鹽竈神社

代表役員

宮司 鍵 三夫

責任役員

阿部勤九郎 佐浦 弘一

鈴木 雄一 渡會 邦彦

阿部 仁

総代 佐藤仁一郎

和田 忠

志賀 重信

水野 暢大

鈴木 健史

桑原 茂

志賀 直哉

津田 武彦

菅原 宏和

小泉 幸彌

勝又 實

下山 雄司

土井 儀憲

阿部 善久

横田 善光

内形 繁夫



新年のご挨拶

塩釜警察署 署長 高嶋 文智

新年明けましておめでとうございます。皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は警察行政の各般にわたり、格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年三月、塩釜警察署の第九十六代署長として着任いたしました。塩釜市は、

私が高校を卒業し警察官を拝命するまで育った地であり、また、幼少の頃は、祖母に手を引かれ毎月一日には志波彦様・塩竈様へのお参りを欠かさず行っておりました。非常にご縁のあるふるさと塩竈へご奉仕できる機会を与えられ、私自身も大きな責任感とやりがいを感じながら日々業務に取り組んでおります。

昨年は、長く続いたコロナ禍も五類へと移行し、平常な生活に戻りつつある中、みなと祭りも通常開催となり、前夜祭も含め塩竈市内外から多くの皆様が集まりました。久々に夏祭りの盛り上がりを感じたところであり、神輿のご巡行に際しては、滞りなくお渡り頂き、署員一丸となり事故無く安全に、そして、皆様が楽し

く過ごせるように願いながら警備に当たったところであります。

また、管内の治安情勢も、刑法犯認知件数や交通事故件数の増加、特殊詐欺被害など様々な課題がございますが、本年も、塩釜警察署として、地域の皆様の安全で安心な地域社会の実現に向け、誠心誠意取り組んで参りたいと思っております。

今後変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

宮城県美術刀剣保存協会 会長 佐藤 一典

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には輝かしい新年をお迎えになられましたこと、心からお慶び申し上げます。

鹽竈神社博物館には当宮城県美術刀剣保存協会(別称・日本美術刀剣保存協会宮城県支部)事務局の看板を掲げて頂いており、大講堂を会場とした「鑑定・鑑賞会」を開催させて頂く等、お社があります一森山は愛

刀家の聖地とも言えます。当会では平成の初めより事業活動の一環として、また私のライフワークとして、宮城藩の領内刀工の押形(刀絵図)を採取しながら調査研究を続けてまいりました。その数四百枚を越え、これも鹽竈神社博物館が果たしたことに深く感謝いたしております。

私は昨年五月に開催された当会総会におきまして、

六代目会長(支部長)に就任し、微力ながらその重責を担っております。昨年九月末からは念願の『仙台藩領内押形集』発行に向けて着手すると共に、宮城県指定文化財の仙台藩主奉納太刀三十五口について、製作に携わった藩工のうち、代が異なる同一銘のものが多数現存し、しかも製作年紀が刻されておらず、更に付属の太刀拵も同様式で製作さ

れているため、長い年月のうちに入れ替わっていることが推測されます。奉納記録との矛盾を正すため、鹽竈神社様の御協力のもと調査研究を進めているところです。

現在鹽竈神社博物館では当会が後援する新春恒例の刀剣展が開催されており、ご観覧頂ければその美しさに魅了され、醸し出す「大和心」を感じ取って頂けるものと思います。

今年も神々様のご加護のもと、皆様のご健勝とご多幸並びに奥州一宮鹽竈神社様の益々のご隆盛をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

- | | | | | | | |
|---|---|--|---|-------------------------------------|-------------------|--|
| 氏子崇敬会
会長 桑原 茂
副会長 水野 暢大
佐藤 良明
小林 克己
菅原 宏和
引地 利男 | 祭典委員会
委員長 内形 繁夫
副委員長 齋藤 善彌
志賀 重信
鈴木 金善
菅原 宏和 | 敬神婦人講
講長 宇仁 一美
副講長 佐々木良子
今野紀美子
千賀 寿子 | 氏子青年会
会長 戸羽 宏明
副会長 沼倉 安志
永沢 透
小林 史人
鈴木 整 | 節分祭年男女世話人会
会長 佐藤 一臣
副会長 佐藤仁一郎 | 御神田奉齋会
会長 阿部 仁 | 鹽竈神社博物館審議委員会
審議委員長 濱田 直嗣
" 太田與八郎 |
|---|---|--|---|-------------------------------------|-------------------|--|

第七十六回 奉獻乾海苔品評会

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉獻乾海苔品評会」が開催されます。

審査会は一月六日(土)午後二時、社務所大講堂で実施します。十帖一束約三三〇g以上の乾海苔を一点として色・艶・手触りなど厳正な審査を経て、優賞・準優賞以下受賞者を決定します。

十一日(木)、午前十一時より関係者参列のもと奉獻感謝祭が齋行されます。

当日は、出品された乾海苔を祭務所に展示します。宮城県のある数の乾海苔を、豊かな香りとともに御覧下さい。



節分祭



恒例の「しおがまさまの豆撒き」節分祭。

本年は二月三日(土)、四日(日)両日共、午後三時より齋行します。

会費は一万八千円(豆撒き参加)、一万二千元(郵送祈禱それぞれ祈禱料・記念品・その他一切を含みます)。

両日共に一三〇名の定員です。お早目に最寄りの世話人にお申込み下さい。

節分祭年男女世話人会

会長

・佐藤 一臣

南町

(株)漢方の塩竈芍薬堂

(三六二) 七八八〇

副会長

・佐藤仁一郎

南町 (株)ごんきや

(三六七) 七七七七

・佐藤 武志

南町 (株)菅原園茶舗

(三六一) 〇〇二八

・郷家 照夫

南町 郷家第三歯科医院

(三六一) 四五七一

・松本喜八郎

旭町 (株)松本左官工業

(三六二) 三二七五

・菅原 周二

桜ヶ丘 (株)白寿殿

(三六六) 四一四一

・桜井ふみ子

清水沢

〇九〇(五八四三)二七二三

・大友 義雄

桜ヶ丘 (株)白寿殿

(三六六) 四一四一

・大場 喜藏

南錦町 大場酒店

(三六七) 〇九〇六

・高瀬 聰

尾島町

(有)たかせさとし美容室

(三六六) 六四二〇

・古内 隆弘

港町 プリンス食品(株)

(三六五) 六一八一

・古川 浩司

真山通 (株)カネヒロ

(三六六) 一一六一

・鈴木 有紀

七ヶ浜町

(有)平蔵屋石油店

〇八〇(二八三三)〇九九五

新嘗祭齋行

十一月二十三日、一年の収穫を大神様に感謝する新嘗祭(産業振興大祭)が、齋行されました。

昨年規模を縮小した「初穂曳」が、コロナ禍前の形で実施されました。多くの奉仕者の手で市内を曳き廻らし、四年ぶりに街中に「梶鳴り」が響きわたりました。奉仕者に満載された奉獻品は、奉仕者の手で御両の御神前にお供えされました。

志波彦神社では神楽「朝日子の舞」の奉奏や、氏子少年団による木遣りが奉納されました。祭典後、神社より阿部仁実行委員長に対し曳入証が授与され、祭典を終えました。新嘗祭齋行に際し、左記の方々から各種産物を御奉納頂きました。

新嘗祭奉獻者御芳名

(品目別・順不同・敬称略)

米

(株)白寿殿・J.Aいしのまき・佐藤恵子・角田洋平

酒類

(株)佐浦・阿部勘酒造(株)・大場一美・(株)やまや・和

田電気工事(株)・ふくむかえドットコム

鮮魚

みなと塩釜魚市場(株)・塩釜市魚市場買受人協同組合・塩釜市魚市場問屋組合・塩釜市水産振興協議会・(株)ワタベ魚類・(株)菊池商店・ヤットハチ鈴木水産(株)・山田水産・坂本商店・(株)阿部亀商店・第三十八友人丸・第十八誠漁丸・山崎達栄丸・第十八八千代・寿利丸

野菜・果物

(有)八百照・(株)塩釜地方卸売市場・山田宏・八百大分店・北浜フード

練製品

(株)ヤマス蒲鉾店・(株)松島蒲鉾本舗・プリンス食品(株)・(有)増友商店・勝山水産(株)・水野水産(株)・マルブン食品(株)・(株)高浜

加工食品

(株)塩釜水産食品・(株)ヤマサ・(株)ヤマカ力勝又商店・(株)明豊・岸柳水産(株)・蜂屋食品(株)・(株)アベチヨウ・(株)阿部善商店・十字屋(株)・太田與八郎商店



菓子

塩釜菓子工業組合・梅果堂・海鮮せんべい塩釜(株)・(有)サントノーレ洋菓子店・(有)土井精菓・(有)ヤマギシ洋菓子店・丹六園・(有)榮太楼

塩

(株)東日本ソルト
仙台営業所

肥料

片倉コープアグリ(株)
東北支店

その他食品

(株)松田製粉・理研食品(株)・シヨップサトー・塩釜ushi業組合・(株)間宮商店

講社だより

十月七日より九日までの三日間、講社大祭が斎行されました。祭典には県内各地のほか、全国から多くの講員が参列しました。

祭典後、永年の継続講員に対し表彰状と記念品が贈呈されました。
また大祭期間中には神楽が奉納され、境内は大いに賑いました。

令和五年度継続講員表彰者

(敬称略)

◇九十年
鎌田 辰夫・引地 ツタエ

◇八十年
阿部 理明・鈴木 鶴時

◇七十年
荒井 正・丹野 幸彦
中村みづゑ

大槌支部(二名)
倉本 学

大河原支部(一名)
小田部 晃二郎

◇六十年
稲辺 勇吉・奥寺 満

大河原支部(三名)

太田 源一・大槻 信幸
齋 利夫

大槌支部(二名)
餅 幸雄

◇五十年
石母田薬局・古川泰一郎
一条ますみ・木村 俊之

大槌支部(一名)
前川 武吉

◇四十年
相澤 國雄・大友 迪子
千田 敬志・鐵 あい子

齋藤 博文
大河原支部(三名)
津田 政行・安藤 良子

佐藤 俊憲
大槌支部(二名)
田中 瑞明・三浦 脩一

◇三十年
鈴木 基夫・長田 敬
鈴木 弘子・内海 俊夫

あんでるせん
城南会(一名)
三浦 顯承

◇二十年
道又 廣司・三浦 松一
加藤 正志・加藤 浩美

加藤 沙耶・松田よし子

色川 敏男・加藤 孝子

河西 研一・小林 正芳
櫻井 道子・高橋 孝弘

早川 沙希
大河原支部(三名)
丸山 六雄・佐藤 政裕

横山 義明
城南会(三名)
飯沼 邦章・角田 長子

向山 文人
岩出山講(一名)
安藤 信光

◇十年
サトー商会・鈴木 秀之
板宮 德行

大河原支部(四名)
工藤 勇市・齋藤 新一
平間 広道・高橋 鉄夫

大槌支部(十七名)
佐々木範子・遠藤 幸夫
東梅 康弘・川原 繁夫

小國 健司・木村 辰喜
中村 功・田老 英明

小國 憲雄・煙山 佳成
丸山 茂喜・松下 ミヤ

佐々木テイ・外館 勇子
尾形 慶子・田村 文子

松坂 マツ
岩出山講(一名)
阿部 千代美

洗心講社祭

十月八日に三十名が参列し、斎行されました。

祭典後、継続講員に対し表彰状と記念品が贈呈され、新講長と新世話人へ委嘱状が交付されました。

令和五年度継続講員表彰者

(敬称略)

◇四十年
寺澤 昭一

◇二十年
福田 文雄・高野 正勝

◇十年
青山 正市・伊藤 明夫
西村 光男・志賀 重信

佐藤 正彦・佐藤 亮
佐藤 仁・佐藤 賢

佐々木佑樹・佐々木俊輔
菊地 文志・青山 伸弥

大塚 亮一・寺澤 直子
寺澤美砂子・伊藤 克枝

委嘱状交付

講長 佐々木健次

世話人

鈴木 雄三

敬神婦人講だより

仙台キリスト教育児院 七五三詣

敬神婦人講では、社会福祉事業の一環として、昭和三十五年から毎年、仙台キリスト教育児院「丘の上子どもホーム」の子どもたちを七五三詣に招待しています。十一月十一日に十三名を招きました。七五三祈禱の後、志波彦神社前で記念撮影をし、大講堂でお祝い会を開催しました。

久しぶりに子供たちの元気な声が聞かれ、心温まる一時となりました。



博物館だより

新春特別展

「令和六年甲辰 新春刀剣展」開催

新春刀剣展」開催

鋼の美術工芸品として高い評価がなされている日本刀は、私たちの歴史において大きな意義を持つ文化的財産



です。

本展では、館藏品・協力出品作品を約三十点の刀剣類を展示致します。

作品を通じて日本刀の魅力の一端に触れていただければ幸いです。御参拝の折には、ぜひ御観覧いただきますよう御案内申し上げます。

◇会期

令和六年一月一日(月)

～一月二十八日(日)

◇開館時間

午前八時三十分

～午後五時まで

◇観覧料金

一般(含大学生) 三〇〇円

高校生以下無料

鹽竈神社神輿修理

鹽竈神社の神輿の修理を実施しました。

修理箇所は屋根と胴体基部の亀裂、金具の剥落部分などで、(株)小西美術工芸社により施工されました。



氏子青年会 清掃奉仕

十月十五日、氏子青年会の活動の一環である清掃奉仕が実施されました。

コロナ禍の中、中断されていましたが、再開の運びとなりました。

今回は社務所前の神苑の池掃除が行われ、戸羽会長始め大勢の会員に御奉仕いただきました。



菊花展

十月二十八日から十一月十二日まで、神社馬場を会場に「第七十三回塩竈市菊祭り」が開催されました。

昨年の猛暑は菊の栽培にも影響を与えましたが、苦労しながらも丹精をこめて育成された数々の出品作が、秋の境内を彩り、参拝者の目を楽しませました。



九月

結婚
おめでとう
ごさいいます

仙台市	青森県	北海道	埼玉県	本吉郡	登米市	福島県	多賀城市	遠田郡	仙台市	大崎市	気仙沼市	岩手県	富山県	塩竈市	東京都	仙台市	宮城県	宮城県	仙台市	大分県	仙台市
佐藤理香子	明本 康平	三ヶ山弓絵	長尾 知彦	板倉ひろみ	菅原 佳紀	佐藤由紀子	横山 里未	太田 義紀	太田 義紀	青沼 美香	白幡 貴	平野 絵美	中村健一郎	駒林 佑美	浮田 聡	大友 麻希	佐々木宏名	佐々木宏名	大友 麻希	鈴木 桃果	久保 海渡

十月

宮城県	福島県	仙台市	仙台市	塩竈市	塩竈市	秋田県	登米市	多賀城市	岩手県	仙台市	大崎市	宮城県	白石市	大崎市	栗原市	福島県	青森県	角田市	角田市	青森県	名取市
相澤 萌	紺野 雄平	鈴木 美波	鈴木 広樹	西川 由花	大槻 峻	荒牧 菜摘	只野 圭祐	荒木 沙月	梅津 正輝	菅田 瑛夏	小嶋 翔	貞弘友里愛	安齊 尚輝	齋藤華雅美	大波 義征	志賀美和子	寺澤 卓也	佐藤 江梨	菅野 理貴	風晴 梨瑚	鹿野 研斗

十一月

銅板奉納者芳名

九月から十一月にかけて多くの方々より奉納をいただきました。(敬称略)

宮城県	香川県	北海道	香川県	宮城県
都築 洋	白須 敏成	廣田 清子	他二五一名	他一一四名

仙台市	青森県	青森県	秋田県	塩竈市	塩竈市	石巻市	秋田県	角田市	福島県	仙台市	仙台市	仙台市
佐藤 健	古川加奈子	三潟 大地	伊藤野々花	小野 拓也	大沼 聖枝	今井 亨	土谷絵里子	佐藤 勁太	佐藤 真歩	児玉 大輔	木皿 佳澄	(敬称略)

授与品案内

うまくいく守

辰歳にあたり、辰の飾り金具のついた今年一年限定です。

初穂料 一、〇〇〇円



たつ歳守 りゅーくん

御座船「龍鳳丸」のキャラクターの御守です。

初穂料 一、〇〇〇円



正月限定御朱印
正月限定の御朱印紙を奉製しました。
枚数 四、〇〇〇枚
初穂料 五〇〇円



大漁満足 海上安祈 安産祈願	三月	二月	一月	毎月	祭事暦 <small>(一月から三月まで)</small> 家内安全 五穀豊穰 国家安泰
	十日	四日	一日	一日	
	十七日	十日	二日	六日	
	二十九日	十一日	三日	十日	
志波彦神社例祭	節分祭追儺式	歳旦御饌祭	朔日曲木神社月次祭	御釜神社月次祭	
	節分祭追儺式	元始御饌祭	御釜神社月次祭	鹽竈神社月次祭	
	節分祭追儺式	元始御饌祭	御釜神社月次祭	鹽竈神社月次祭	
	節分祭追儺式	元始御饌祭	御釜神社月次祭	鹽竈神社月次祭	

参拝記録

九月

一日 国際ロータリークラブ二五二〇地区

四日 國學院大學 神道文化部教授 石井研士氏

十日 洗心講世話人会 他同大學指定自習Ⅱ 受講者四名

十九日 山形県神社庁酒田飽海支部 第一区 酒田氏子総代会

二十七日 宮城県敬神婦人連合会

ソプラノ歌手 小野綾子氏

ピアノ奏者 堀内由紀子氏

十月 神奈川県・伊勢山皇大神宮

四日 福島県・一八会

十八日 藤沢青年会議所〇B会会員有志

十一月 新潟県南魚沼神社総代会

六日 タリーズコーヒージャパン(株)

二十二日 創業者 松田 公太氏他七名

三十日 しおがま蔵出し 新酒まつり

わがままと甘えのはざま隙間風
耳遠くなりたる夫と今日の月
点滴をはずしてみたき良夜かな
熊穴に入るを遅らす季の乱れ
繕ふて夫にわたせし菊枕
約束は多忙口実暮の秋
尺八の五つの穴よ秋の園
うろこ雲バット振り切る女の子
団栗や出船入船見て飽かず
酒の実のつぶやく緋寒桜かな

上田 由美子
大野 みよ子
大友 セツノ
今田 須美子
齋藤 豊子
菅原 和子
佐藤 悦子
鈴木 ゆう子
今野 紀美子
及川 源作

謹賀新年



令和六年 甲辰 元旦

志波彦神社 鹽竈神社

宮司 鍵三夫
権司 大瀧 博司
権宜 近藤 優
権宜 小野 道教
権宜 永野 雄大
権宜 鈴木 重和
権宜 前川 成文
権宜 菅原 慶太
権宜 小栗 雅仁
権宜 藤澤 瑞朗
権宜 浅野 満昭
権宜 三品 博隆
権宜 菅原 治彦
権宜 栗生 貴史
権宜 菅野 祐太

今年一年良い年でありますように。(慶)

赤巻



権宜 高橋 友紀
出仕 菊地 明日香
巫女 及川 華夢
千葉 琴羽
石川 一河
加藤 美羽
日野 愛咲
大沼 れい
菅田 楓
櫻下 乃彩
高橋 乃賢
茂木 裕樹
伊藤 道則
三浦 馨
加藤 竜希
伊勢 章子
鈴木 隆子